

令和 8 年度

パワーアップ・地域活動応援事業  
補助金の手引き

【地域活動応援事業用】

（ 学区自治団体等の単独実施事業  
学区自治団体等の共同実施事業 ）

大津市市民活動センター

電話：077-527-8661

メール:otsu1172@city.otsu.lg.jp

# ●補助金について

## 1 パワーアップ・地域活動応援事業補助金とは？

パワーアップ・地域活動応援事業は、大津市の「協働のまちづくり」を推進するため、地域の課題解決やまちの活性化に向けて取り組む、市民団体等や学区自治団体等の主体的なまちづくり活動を支援する補助制度です。

## 2 補助対象事業

本事業の趣旨に沿う事業で、次に掲げる要件を**すべて満たす**ものが補助対象となります。

- ① 地域の課題解決（人材育成、地域活性化等）に資する事業
- ② 地域の多様な主体が連携、協力して実施する事業
- ③ 地域住民が広く参加可能な事業
- ④ 地域コミュニティや人のつながりを深めることができる事業
- ⑤ 年度内に完了する事業
- ⑥ 営利を目的とした事業、政治的活動及び宗教的活動を目的とした事業並びに国又は地方公共団体等から他の制度による補助を受ける事業でないこと

## 3 補助対象団体

補助金の対象となる団体は、次の**要件すべて**に該当する団体となります。

- ① 学区自治団体等（ア：学区自治連合会、イ：学区まちづくり協議会、ウ：学区内における特定のまちづくり活動を実施するためにア又はイと地域各種団体で組織された団体（実行委員会等））
- ② 定款、規約、会則その他の定めにより、団体として運営上の規律が確立されていること。
- ③ 活動が特定の団体や個人の利益に寄与することを目的としていないこと。
- ④ 政治的活動及び宗教的活動を目的としていないこと。

※ 自治会単位や地域各種団体単独での応募はできません。

## 4 補助金額

補助金額は、補助対象経費から事業収入を差し引いた額と以下の金額とを比較して、いずれか少ない方の額となります。

- ・ 単一の学区自治団体等が実施する事業 10万円(上限)
- ・ 2つ以上の学区自治団体が連携する事業 20万円(上限)

### 注意事項

- 単一の学区自治団体等が実施する事業、2つ以上の学区自治団体が連携する事業については、**同一年度内に各学区につき、それぞれ1回ずつ**申請できます。
- **同一の団体(連携した団体)が行う同一事業への補助は3回限り**とします。
- 予算に限度がありますので、事業を計画されている団体は、**事前に大津市市民活動センターまでご相談ください。**

## 5 補助対象とならない経費

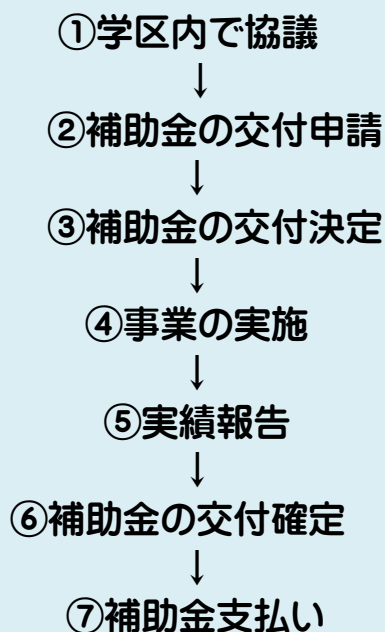
- (1) 学区自治団体等の事務所等を維持するための経費(事務所の家賃、土地・建物等の購入費・工事費・修繕費等及び団体の所有する備品などの修繕費等)
- (2) 学区自治団体等の経常的な活動に要する経費(光熱水費、電話代、ホームページ管理費、雑誌・新聞購読料、団体運営のために雇用している者の人件費等)
- (3) 学区自治団体等の構成員に対する人件費及び謝礼
- (4) 備品購入費及び食糧費(食事代・菓子代)
- (5) 事業実施団体が支払ったことが確認できない経費(領収書・明細書がない経費)
- (6) 交付決定日以前に契約や発注等が行われた経費
- (7) その他市長が適当でないと認める経費

## 6 補助対象経費の例

- (1) 賃 金 事業実施のために臨時に必要となるアルバイト等の人件費
- (2) 報 償 費 講師・専門家・ボランティア等への報酬・謝礼金(交通費含む)等
- (3) 消 耗 品 費 用紙等の消耗品、資材等の購入費、会議等の湯茶代(ペットボトル飲料等)
- (4) 印刷製本費 ポスター・チラシ・資料等の印刷代・コピー代
- (5) 役 務 費 事業実施に係る通信料・運搬料(切手代等)、手数料(振込手数料等)、保険料等
- (6) 委 託 料 団体構成員で行えない業務の外部委託費
- (7) 使用料・賃借料 会場等の使用料、機器類の賃借料
- (8) 交 通 費 補助事業のために必要とする講師・団体構成員・ボランティア等への交通費

申請される事業は来年度以降も地域で継続していくことを想定し、補助対象経費については精査したうえで計上するようにしてください。

## 7 事業の進め方



※ 2つ以上の学区自治団体等が連携する場合、**補助金は代表の1学区に支払います。**

(代表以外の連携学区からの委任状の提出をお願いします。)

※ 交付決定日以前に契約や発注等が行われた経費は補助対象となりません。

# ●申請について

## 8 募集期間

令和8年5月27日（水） ～ 令和8年6月30日（火） 17時まで

## 9 申請方法

次の書類を作成し、大津市市民活動センターへ「メール・持参・配達記録ができる送付方法（簡易書留等）」のいずれかの方法でご提出ください。（持参の場合は、月曜日から土曜日の9時～19時のみ受付します）

- 大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助金交付申請書（様式第2号）
- 事業計画書（参考様式第1号）
- 収支予算書（参考様式第2号）
- 団体等の定款、規約、会則又はこれに代わるもの
- 学区自治連合会、学区まちづくり協議会以外の団体が申請団体となる場合は、学区自治連合会または学区まちづくり協議会が構成団体として含まれていることがわかるもの

※必要に応じてその他の資料の提出をお願いすることがあります。

※事業計画書及び収支予算書については、参考様式に記載の項目が具備されていれば書式は問いません。

※メールにて書類をご提出いただく場合は、確認のため、メール送信後、電話でその旨をお伝えください。

### 提出先

Mail: [otsu1172@city.otsu.lg.jp](mailto:otsu1172@city.otsu.lg.jp)

TEL: 077 - 527 - 8661

住所: 〒520 - 0047 大津市浜大津四丁目1番1号

明日都浜大津1階 大津市市民活動センター

## 注意事項

- (1) 収支予算書の内訳欄に、算出根拠となる単価や数量を記入してください。
- (2) 賃金は、「賃金」を除く補助対象経費の総額の **10%以内**とします。  
(「賃金」を除く補助対象経費の総額が 10万円の事業の場合、賃金は 1 万円まで補助対象として認められます。)
- (3) 屋外での活動や危険な行為が伴う活動は保険に加入してください。
- (4) 会場等の使用料は料金のわかるものを添付してください。(パンフレット・会場のHP など)
- (5) 単価 (1件) 5万円以上のものは見積書を添付してください。(賃金・報償費除く)
- (6) 交通費は、**合計2万円以内**とします。
- (7) 交通費や報償費を補助対象経費として計上する場合は、実績報告の際に受領証 (本人の押印またはサインがあるもの) が必要です。
- (8) 参加者等の景品代は **1 人あたり 500 円相当分まで、合計 3 万円以内**とします。
- (9) やむを得ず事業内容等に変更が生じる場合は、必ず事前に相談をしてください。  
事前の相談なく事業内容等の変更があった場合は、補助金を交付できない場合があります

# ●事業報告について

## 10 実績報告書の提出

次の書類を作成し、大津市市民活動センターへ「メール・持参・配達」の記録ができる送付方法（簡易書留等）」のいずれかの方法でご提出ください。（持参の場合は、月曜日から土曜日の9時～19時のみ受付します）

- 大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助事業実績報告書（様式第13号）
- 事業報告書（参考様式第3号）
- 収支決算書（参考様式第4号）
- 領収書等（明細を記したものを含む。）支払を証明する書類の写し
- パンフレット等の成果物、事業の実施状況が分かる写真

※必要に応じてその他の資料の提出をお願いすることがあります。

※事業報告書及び収支決算書については、参考様式に記載の項目が具備されていれば書式は問いません。

※メールにて書類をご提出いただく場合は、確認のため、メール送信後、電話でその旨をお伝えください。

### 注意事項

- (1) 支払を証明する書類として、金額のみではなく、購入内容が確認できる書類（レシート、明細書等）を添付してください。
- (2) 領収書等の宛名は申請団体とし、日付が交付決定日以降であるか確認してください。（交付決定日以前に支出した経費は補助対象となりません。）
- (3) 以下の点にご注意ください。
  - ・賃金は、「賃金」を除く補助対象経費の総額の **10%以内**であるか
  - ・交通費は、**合計2万円以内**であるか。
  - ・交通費や報償費を補助対象経費として計上する場合は、受領証（本人の押印またはサインがあるもの）があるか。
  - ・参加者等の景品代は **1人あたり500円相当分まで、合計3万円以内**であるか。

# 11 記入例

交付申請

様式第2号（第9条関係）

大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助金交付申請書

令和8年●月●日

(宛先)

大津市長

(申請団体)

(1) 所在地 〒△△△-△△△  
大津市・・・

(2) 団体の名称 ○○学区まちづくり協議会

(3) 代表者 会長 大津 太郎

(4) 連絡先 ×××-××××

本事業において連絡の取れる連絡先・メールアドレスを記入してください。

(注) 2以上の市民団体等又は2以上の学区自治団体等の共催により実施する場合は、全ての団体について記載してください。

令和8年度大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助事業を実施するため、大津市補助金等交付規則第4条第1項の規定により、下記のとおり補助金の交付を申請します。

## 記

1 補助事業の名称 ○○学区の安心・安全プロジェクト

2つ以上の学区自治団体等が連携する場合は、こちらにチェックを入れてください。

2 補助事業の区分

市民活動応援事業（ 2以上の市民団体等の共催事業に該当）

地域活動応援事業（ 2以上の学区自治団体等の共催事業に該当）

市民団体等と学区自治団体等の共催事業

3 事業費 203,200 円（うち補助対象事業費 173,200 円）

4 補助事業の着手予定年月日 令和8年 7月 10日

5 補助事業の完了予定年月日 令和9年 1月 31日

6 関係書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

(3) 団体の定款、規約その他団体の組織に関する内容が分かる書類

(4) その他市長が必要と認めるもの

事業計画書

事業名称	〇〇学区の安心・安全プロジェクト
事業期間	令和8年7月10日 ～ 令和9年1月31日
事業概要	地域の高齢者見守り活動を効果的に行うための安心・安全をテーマとしたセミナー及びワークショップを開催する。
事業内容 (詳細)	<p>(日時、実施場所、実施方法、対象者、参加予定人数、参加費、など具体的に)</p> <p>安心・安全セミナー・ワークショップの開催</p> <p>日時：令和8年10月、12月(予定)</p> <p>場所：〇〇センター</p> <p>実施内容：〇〇大学〇〇教授から「〇〇〇〇〇〇」と題した講義 その後、グループに分かれ、高齢者の見守りをテーマに〇〇学区の現状や課題、解決策を考えるワークショップを実施する。</p> <p>実施体制：実施団体他、協力団体から応援を含め●●人、学生ボランティアスタッフ●●人で実施する。</p> <p>対象者：〇〇学区住民、〇〇学区勤務者など</p> <p>参加予定人数：各50名</p> <p>参加費：無料</p>
事業のポイント	<p>①地域のどのような課題に取り組む事業か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人の現状把握</li> <li>・地域全体で地域の高齢者を見守るという意識の醸成</li> </ul>
	<p>②どのように地域の多様な主体が連携、協力して事業を実施していくか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区社会福祉協議会を中心に独居老人の情報共有を行い、各種団体に協力を求める</li> <li>・子どもや生徒にも参加してもらうため、PTAや学校を通じて事業を周知する</li> </ul>
	<p>③地域住民が広く参加できるための創意・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇学区安心・安全ニュースを作成し全戸配布する</li> <li>・自治会回覧板・掲示板でのチラシ・ポスターによる案内チラシ〇〇〇部作成する</li> </ul>
	<p>④どのような点で地域コミュニティや人のつながりを深めることができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体などの事業への関わりを深めることで、地域内の見守り体制を構築する</li> <li>・様々な人材が事業を通じた関わりを持つことで、新たな交流が生まれる</li> </ul>

どのような事業を実施するのか、具体的に記入してください。  
予算書の内容と合うようにしてください。

## 次年度以降の展望

(今後どのように他の活動へ波及させ、地域の活性化につなげていくか)

- 将来目指すべき理想の事業運営について
- 1年後、2年後、3年後の事業展開

など、今後の事業の展望について記載してください。

## 事業のスケジュール

月 次 計 画	4月	• プロジェクトチームの設立・会則策定 • 事業計画打合せ
	5月	• 事業提案書を市に提出
	6月	
	7月	チラシの作成
	8月	チラシの配付（全戸配布、自治会回覧板、小中学校）
	9月	講師、ファシリテーターとの打合せ
	10月	第1回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催
	11月	講師、ファシリテーターとの打合せ
	12月	第2回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催
	1月	• 次年度に向けての検討会 • 実績報告書の提出
	2月	
	3月	

収 支 予 算 書

賃金を除く補助対象経費の総額の10%以内

単位:円)

支出

科 目	金 額	内 訳
賃金	13,200	安心・安全セミナー・ワークショップ当日バイト代 @1,100×3h×2人×2回=13,200円
報償費	30,000	〇〇大学〇〇教授 @15,000×2回=30,000円
消耗品費	50,000	事務用消耗品(チラシ用紙・文房具・模造紙・紙芝居材料代など) 45,000円 会議お茶代 @100×10人×5回=5,000円
印刷製本費	85,000	マップ作成費 30,000円(500部) チラシ作成費 50,000円(1,000部) 資料コピー代 @10×500枚=5,000円
役務費	10,000	保険料 @5,000円/日×2回
委託料		
使用料・賃借料	12,000	〇〇センター使用料 大ホール(安心・安全セミナー・ワークショップ) @2,000×3時間×2回=12,000円
交通費	3,000	構成員交通費(〇〇-△△間、□□-●●間)
①合計 (①=⑤)	203,200	

必要な科目に書き換えてください。

5万円以上は見積書添付

会場使用料のわかる資料を添付

※必要経費の積算根拠を確認するため、別途必要資料を提出願うことがあります。

収入

(単位:円)

名 目	金 額	内 訳
②事業収入	30,000	事業者からの協賛金
③大津市補助金	100,000	
④自己資金 (①-(②+③))	73,200	〇〇学区まちづくり協議会負担金 73,200円
⑤合計 (①=⑤)	203,200	

※②事業収入…参加費、入場料、事業者からの協賛金など

## 大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助事業実績報告書

令和9年●月●日

(宛先)

大津市長

(申請団体)

(1) 所在地 〒△△△-△△△

大津市・・・

(2) 団体の名称 ○○学区まちづくり協議会

(3) 代表者 会長 大津 太郎

(4) 連絡先 ×××-××××

(注) 2以上の市民団体等又は2以上の学区自治団体等の共催により実施する場合は、全ての団体について記載してください。

## 交付決定通知を確認

令和8年○月○日付け大市自活セ第●●号で補助金の交付の決定のあった大津市パワーアップ・地域活動応援事業補助事業の実績について、大津市補助金等交付規則第14条の規定により次のとおり報告します。

補助年度	令和8年度
補助事業の名称	○○学区の安心・安全プロジェクト
補助事業の区分	<input type="checkbox"/> 市民活動応援事業（ <input type="checkbox"/> 2以上の市民団体等の共催事業に該当） <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動応援事業（ <input type="checkbox"/> 2以上の学区自治団体等の共催事業に該当） <input type="checkbox"/> 市民団体等と学区自治団体等の共催事業
交付決定金額	100,000 円
補助金の既交付金額	0 円
補助金の決算額	218,300 円
添付書類	(1) 事業報告書 (2) 収支決算書 (3) 領収書等（明細を記したものを含む。）支払を証明する書類の写し (4) パンフレット等の成果物、事業の実施状況が分かる写真 (5) その他関係書類

概算払の場合は、すでに受領している金額を記入

## 事業報告書

補助事業の名称	〇〇学区の安心・安全プロジェクト
補助事業の実施期間	着手 令和8年7月10日 完了 令和9年1月30日
事業内容 ・活動日時 ・場所 等	<p>日時：令和8年10月17日（土）、12月19日（日）</p> <p>場所：〇〇センター</p> <p>第1回：〇〇大学教授による、高齢者見守りに関する講演</p> <p>第2回：参加者がグループに分かれ、学区内の現状や課題、見守りの方法について意見交換</p> <p>地域における高齢者の見守り意識の向上と、住民同士のつながりづくりを目的として、安心・安全をテーマにしたセミナー及びワークショップを2回開催した。事業の周知は全戸配布のチラシ、自治会回覧板、学校を通じた案内により実施し、地域住民や学生ボランティア等、多様な主体の参加を得て実施した。</p>
事業の成果	<p>セミナー及びワークショップを通じて、高齢者の見守りは一部の団体のみが担うものではなく、地域全体で支えることが重要であるという共通認識を参加者間で深めることができた。また、自治会、福祉関係団体、学校関係者、学生ボランティアなど幅広い世代・立場の住民が一堂に会し、地域課題について意見交換を行ったことで、顔の見える関係づくりのきっかけとなった。参加者からは、日常のあいさつや声かけを見守りにつなげたいとの意見も多く、地域での見守り意識の醸成に一定の成果があった。</p>
事業の課題	<p>事業には多様な参加者を得ることができた一方で、参加者が固定化する傾向も見られ、特に若い世代や働く世代の参加をさらに広げる必要があることが課題として明らかとなった。また、ワークショップでは多くの意見が出されたものの、それらを具体的な地域の見守り活動へ継続的につなげる仕組みづくりには至っていない。単発の啓発事業で終わらせず、地域内で役割分担を行いながら実践につなげるためには、関係団体との継続的な協議と実施体制の強化が必要である。</p>
次年度の展望	<p>次年度は、本年度の事業で得られた意見や参加者同士のつながりを生かし、学区内における具体的な見守り活動の実践につなげていく予定である。引き続き安心・安全に関する学習機会を設けるとともに、自治会や福祉団体、学校等との連携を深め、地域ぐるみで高齢者を見守る体制づくりを進める。また、若い世代にも参加しやすい内容や周知方法を工夫し、より多くの住民が地域課題に関心を持ち、継続して関わることのできる仕組みの構築を目指す。</p>

※内容の全部又は一部を公開する場合があります。

収 支 決 算 書

賃金を除く補助対象経費  
の総額の10%以内

支出

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
賃金	13,200	19,800	安心・安全セミナー当日バイト代 @1,100×3h×3人×2回=19,800円
報償費	30,000	20,000	〇〇大学〇〇教授 講師謝礼
消耗品費	50,000	67,500	事務用消耗品(チラシ用紙・文房具・模 造紙・紙芝居材料代など) 60,000円 会議お茶代 @100×15人×5回=7,500円
印刷製本費	85,000	85,000	マップ作成費 30,000円(500部) チラシ作成費 50,000円(1,000部) 資料コピー代 5,000円
役務費	10,000	12,000	保険料 @6,000円/日×2回
委託料			
使用料・賃借料	12,000	14,000	〇〇センター使用料
交通費	3,000	0	
①合計 (①=⑤)	203,200	218,300	

必要な科目  
に書き換え  
てください。

※必要経費の積算根拠を確認するため、別途必要資料を提出願うことがあります。

収入

(単位:円)

名 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
②事業収入	30,000	30,000	事業者からの協賛金
③大津市補助金	100,000	100,000	
④自己資金 (①-(②+③))	73,200	88,300	〇〇学区まちづくり協議会負担金
⑤合計 (①=⑤)	203,200	218,300	

※②事業収入…参加者費、入場料、事業者からの協賛金など

大津市市民活動センター

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号

電話：077-527-8661 FAX：077-523-0411

メール：[otsu1172@city.otsu.lg.jp](mailto:otsu1172@city.otsu.lg.jp)

※本事業についての問い合わせは、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。